

～登壇者ご紹介～

谷口 守

筑波大学システム情報系社会工学域 教授



<略歴>

1989年京都大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。工学博士。
1989年京都大学工学部助手、カリフォルニア大学客員研究員、ノルウェー王立都市地域研究所
文部省在外研究員、岡山大学環境理工学部助教授、2002年同教授等を経て、2009年より現職。
IFHP(国際住宅・都市計画連合)元日本代表理事、2015年より公益社団法人日本交通計画協会
代表理事、2021年より社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会分科会長。
コンパクトシティ研究で文部科学大臣賞(科学技術賞)(2021年)、都市計画学会石川賞(2022年)、
都市のサイバー化研究で米谷佐佐木賞(創研部門)(2016年)、
ほか土木学会・不動産学会・都市計画学会等で論文賞受賞多数。
著書に『入門都市計画』(単著、2014年、森北出版)、
『世界のコンパクトシティ』(編著、2019年、学芸出版社)
『生き物から学ぶまちづくり』(単著、2018年、コロナ社)、
『実践 地域・まちづくりワーク』(単著、2018年、森北出版)ほか。
専門は都市・地域計画、交通計画、環境計画。